

研究教育業績（過去5年間）

I. 研究業績

1. 主な発表論文

[原著論文]

- 1) Matsumoto N, Omagari D, Ushikoshi-Nakayama R, Yamazaki T, Inoue H, Saito I: Hyperglycemia Induces Generation of Reactive Oxygen Species and Accelerates Apoptotic Cell Death in Salivary Gland Cells **Pathobiology**. **88**, 234-241 (2021)
- 2) Yamazaki T, Ushikoshi-Nakayama R., Shirone K., Suzuki M., Abe S., Matsumoto N., Inoue H., Saito I.: Evaluation of the effect of a heat-killed lactic acid bacterium, *Enterococcus faecalis* 2001, on oral candidiasis. **Benef. Microbes**, July 10 (6): 661-669. (2019)
- 3) Makino K., Takeichi O., Imai K., Inoue H., Hatori K., Himi K., Saito I., Ochiai K., and Ogiso B., *Porphyromonas endodontalis* reactivates latent Epstein-Barr virus. **Int Endod J**, **51**, 1410-1419 (2018)
- 4) Saruta J., To M., Sugimoto M., Yamamoto Y., Shimizu T., Nakagawa Y., Inoue H., Saito I., and Tsukinoki K., Salivary Gland Derived BDNF Overexpression in Mice Exerts an Anxiolytic Effect. **Int J Mol Sci**, **18**, E1902, (2017)
- 5) Tsuboi H., Hagiwara S., Asashima H., Takahashi H., Hirota T., Noma H., Umehara H., Kawakami A., Nakamura H., Sano H., Tsubota K., Ogawa Y., Takamura E., Saito I., Inoue H., Nakamura S., Moriyama M., Takeuchi T., Tanaka Y., Hirata S., Mimori T., Matsumoto I., and Sumida T., Comparison of performance of the 2016 ACR-EULAR classification criteria for primary Sjogren's syndrome with other sets of criteria in Japanese patients. **Ann Rheum Dis**, **76**, 1980-1985, (2017)
- 6) Inoue H., Kishimoto A., Ushikoshi-Nakayama R., Hasaka A., Takahashi A., Ryo K., Muramatsu T., Ide F., Mishima K., Saito I. Resveratrol improves salivary dysfunction in a non-obese diabetic (NOD) mouse model of Sjögren's syndrome. **J. Clin. Biochem. Nutr.** **59** , 107-112, (2016)
- 7) Kusakabe Y., Shindo Y., Kawai T., Takahashi Y., Koori M., Inoue H., Saito I.: Sex-Based Differences in Smgc Expression in the Submandibular Gland of C57BL/6 Mice. **Pathobiology**, **83**, 287-294, (2016)

2. 主な学会発表

[国内学会]

- 1) 中山 亮子, 山崎 智恵, 松本 直行, 井上 裕子, 斎藤 一郎 肺線維症モデルを用いたビタミンDの抗炎症作用と局所活性化の検討 第19回 日本抗加齢医学会 6月, 横浜 (2019)
- 1) 中山亮子, 金子三恵, 梁洪淵, 山崎智恵, 藤井健志, 松本直行, 井上裕子, 斎藤一郎 還元型 CoQ10によるドライマウス予防効果の検討 第18回 日本抗加齢医学会 5月, 大阪 (2018)

- 2) 山崎智恵, 白根和明, 中山亮子, 松本直行, 菅野智子, 金子三恵, 井上裕子, 斎藤一郎 乳酸菌(EF2001)のカンジダ抑制効果と口腔カンジダ症の改善の検討 第18回 日本抗加齢医学会 5月, 東京(2018)
- 3) 坪井洋人, 萩原晋也, 浅島弘充, 高橋広行, 廣田智哉, 野間久史, 梅原久範, 川上純, 中村英樹, 佐野統, 坪田一男, 小川葉子, 高村悦子, 斎藤一郎, 井上裕子, 中村誠司, 森山雅文, 竹内勤, 田中良哉, 平田信太郎, 三森経世, 松本功, 住田孝之 2016年アメリカリウマチ学会-ヨーロッパリウマチ学会一次性シェーグレン症候群新分類基準の日本人患者における検証: 従来の3つの診断基準・分類基準との比較 第26回日本シェーグレン症候群学会学術集会 9月, 東京(2017)
- 4) 中山亮子, 井上裕子, 金子三恵, 梁洪淵, 伊藤正孝, 斎藤一郎 早期閉経モデルマウスを用いた唾液分泌障害におけるミトコンドリアの解析 第17回 日本抗加齢医学会 6月, 東京(2017)

### 3. その他特筆すべき研究業績

[研究費獲得]

- 1) 井上裕子(分担) 文部科学省科学研究費補助金基盤研究C、脂肪由来幹細胞による唾液腺特異的傷害モデルマウスの組織再生と促進因子の網羅的解析(2020-2022)
- 2) 井上裕子(分担) 文部科学省科学研究費補助金基盤研究C、EBウイルス遺伝子導入マウスによるシェーグレン症候群発症機構の解明(2020-2022)
- 3) 井上裕子(代表) 文部科学省科学研究費補助金基盤研究C一般、ヘルペスウイルスを介した慢性疲労の発症機構の解明とその制御因子の検索(2019-2021)
- 4) 井上裕子(分担) 文部科学省科学研究費補助金基盤研究C一般、唾液腺特異的傷害モデルマウスの作出とEGFR2/MUC1経路による修復機構の解明(2017-2019)
- 5) 井上裕子(代表) 文部科学省科学研究費補助金基盤研究C一般、加齢に伴うヘルペスウイルス関連疾患の成立機序とその制御に関する検討(2016-2018)
- 6) 井上裕子(分担) 文部科学省科学研究費補助金基盤研究C一般、エストロゲンによるミトコンドリアを介した唾液分泌制御機構の解明(2015-2017)
- 7) 井上裕子(分担) 文部科学省科学研究費補助金基盤研究B一般、カロリー制限研究からの知見を応用した唾液分泌障害に対する新規治療基盤の確立(2015-2017)
- 8) 井上裕子(分担) 文部科学省科学研究費補助金基盤研究C一般、高含有大豆イソフラボン代謝産物を用いた口腔乾燥症に対する効果とその作用機序の検討(2014-2016)

## II. 教育業績

### 1. 担当授業科目

2020年度

疾病と治療薬I(ス2年生)

免疫・炎症・アレルギーおよび骨・関節疾患と薬(3年生)

薬学総合演習I 2コマ(4年生)

薬学総合演習II 1コマ(6年生)

病態・薬物治療特論 2コマ (6年生)

薬理・薬物治療実習 (3年生)

薬剤師の使命 12コマ (1年生)

地域と大学 1コマ (4年生)

#### 2019年度

疾病と治療薬 I (ス2年生)

免疫・炎症・アレルギーおよび骨・関節疾患と薬 (3年生)

薬学総合演習 I 2コマ (4年生)

薬学総合演習 II 3コマ (6年生)

薬理・薬物治療実習 (3年生)

実務前実習 2コマ (4年生)

薬剤師の使命 10コマ (1年生)

地域と大学 1コマ (4年生)

#### 2018年度

疾病と治療薬 I (ス2年生)

免疫・炎症・アレルギーおよび骨・関節疾患と薬 (3年生)

薬学総合演習 I 2コマ (4年生)

薬学総合演習 II 4コマ (6年生)

薬学演習 IB 特別補習 1コマ (4年生)

薬理・薬物治療実習 (3年生)

プレ教育 4コマ (4年生)

薬剤師の使命 10コマ (1年生)

#### 2017年度

疾病と治療薬 I (ス2年生)

免疫・炎症・アレルギーおよび骨・関節疾患と薬 (3年生)

薬物治療学 IIIB (4年生)

薬学総合演習 I 3コマ (4年生)

薬学総合演習 II 5コマ (6年生)

総合薬学勉強会 4コマ (5年生)

薬学演習 IB 特別補習 1コマ (4年生)

薬理・薬物治療実習 (3年生)

プレ教育 4コマ (4年生)

#### 2016年度

疾病と治療薬 I (ス2年生)

疾病と治療薬 II (ス2年生)

薬物治療学 IIIB (4年生)

薬学演習Ⅰ 2コマ (4年生)

薬学演習Ⅱ 4コマ (6年生)

薬学演習 4コマ (5年生)

医療系実習 (3年生)

薬理系実習 (3年生)

薬学体験 1コマ (1年生)

プレ教育 2コマ (4年生)

## 2. その他特筆すべき教育業績